

◇ 年間学習計画〔国 語〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
現代の国語	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するとともに、論理的思考力や伝え合う力を育み、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける姿勢を育成する。

2 学習計画

学 期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日 曜	水 曜	No.	合格 期限
前 期	1 自己を見つめる 「こそめスープ」 「ルリボシカミキリの青」 2 他者に出会う 「未来をつくる想像力」	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に興味関心を抱くとともに、自己への理解を深める。</li> <li>筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。</li> <li>情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張を理解する。</li> </ul>	5/10	5/13	1	5/27
		5/24	5/27			
	2 他者に出会う 「水の東西」 3 言葉と生活1 「分かりやすい説明をしよう・異なる種類の文章を比べよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。</li> <li>目的や相手に合ったわかりやすい説明をする。</li> <li>複数の文章を読み比べ、自分の考えを深める。</li> </ul>	6/7	6/10	2	6/17
	4 視野を広げる 「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 「ハサミ-左利きだからこそ見えた世間」	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。</li> <li>ハサミに関する筆者の体験について書かれた文章を読み、自分のものの見方に対する理解を深める。</li> </ul>	6/21	6/24	3	7/12
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後 期	5 社会と関わる 「鍋洗いの日々」 「森で染める人」 「動きを引き出す言葉の力」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。</li> <li>自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。</li> <li>コーチングにおける言葉の役割を踏まえ、仕事と言葉の関わりについて考える。</li> </ul>	10/4	10/7	4	10/21
		10/18	10/21			
	7 世界とつながる 「りんごのほっぺ」 「人生という旅の豊かな人間関係」	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と作品に一貫する筆者の思いを読み取る。</li> <li>具体例から筆者の主張やタンザニアの人々の価値観を読み取り、自分の体験や考えと比較する。</li> </ul>	11/1	11/4	5	11/11
	8 未来に目を向ける 「天動説はなぜ『正しかった』か?」 「真の自立とは」	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイトルや具体例に注意して、科学についての筆者の考えを読み取る。</li> <li>「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。</li> </ul>	11/15	11/18	6	12/6
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者と社会に関わろうとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔国 語〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
言語文化	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

### 1 学習目標

社会生活に必要な言語能力を身に付けるとともに、言語文化に対する関心と理解を深め、論理的思考力や深く共感したり豊かに創造したりする力、伝え合う力、自分の考えを形成する力を養う。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	現代文編 1 随筆 「さくらさくらさくら」 「心の自由」	<ul style="list-style-type: none"> <li>引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。</li> <li>「旅」と「物語」の共通性について理解し、どのようなときに「心の自由」を感じるのか考える。</li> </ul>	5/17	5/20	1	5/27
	2 小説 「とんかつ」 4 小説 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> <li>会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。</li> <li>極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。</li> </ul>	5/31 6/14	6/3 6/17	2	6/17
	3 詩歌 「柳あをめる」【短歌】 「雪の深さを」【俳句】 「少年の日」【詩】	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌や俳句独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情、主題を読み取る。</li> <li>「君」への思いを示す言葉をたどりながら、「少年」の思いを理解する。</li> </ul>	6/28	7/1	3	7/12
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	古文編 1 古文入門 「古文に親しむ」 2 随筆 『徒然草』『奥山に、猫またといふものありて』	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語の決まりを理解する。</li> <li>古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。</li> <li>作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。</li> </ul>	10/11	10/14	1	10/21
	4 物語 『伊勢物語』『芥川』 『平家物語』『木曾の最期』 5 紀行 『奥の細道』『平泉』	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。</li> <li>文章の展開や表現の特色に注目しながら、物語を読み味わう。</li> <li>作品の内容を読み取り、作者の思いを捉える。</li> <li>文章の構成や表現の特色を理解し、作品を読み深める。</li> </ul>	10/25 11/8	10/28 11/11	2	11/11
	漢文編 1 漢文入門「訓読の基本」「故事成語」 2 漢詩「絶句と律詩」「春望」 3 論語「論語一八章」 4 史話「史話一三編」	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の特色を知り、きまりを理解する。</li> <li>格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。</li> <li>漢詩に歌われた情景や作者の心情を読み取る。</li> <li>孔子の学問、人格、政治の在り方についての考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。</li> <li>話の展開に即して、内容を理解する力を身に付ける。</li> </ul>	11/29	12/2	3	12/6
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
○思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔国語〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
文学国語	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(3)・後期(3)

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	現代の小説(一) 「デューク」	・「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。	5/17	5/20	1	5/27
	現代の詩 「生命は」 「そこにひとつの席が」 「食事」	・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について作者の捉え方を理解する。 ・詩中表現が示しているものを理解し、「僕」と「恋人」が置かれていた状況を読み取る。 ・比喩構造や視点の転換を考察し、題名を意識しながら詩が提示するメッセージを考える。	5/24	5/27	2	
	現代の小説(二) 「相棒」	・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名に込められた意味を考える。	5/31	6/3	3	6/17
	随想く芸術 「花のいざない」	・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。	6/14	6/17	4	
	近代の小説(一) 「鼻」	・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。	7/5	7/8	5	
	戦争と文学(一) 「バグダッドの靴磨き」	・登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の発言の背景にあるものを理解する。	7/12	7/15	6	7/12
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22		
後期	現代の小説(三) 「旅する本」	・短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。	10/11	10/14	7	10/21
	近代の詩 「こころ」 「汚れつちまつた悲しみに……」 「永訣の朝」	・文語詩に親しみ、多様な隠喩を通して「こころ」を描き出すイメージの豊かさを味わう。 ・題名に込められた意味とは何か、詩中表現を基にして考え、詩の内容と韻律を味わう。 ・詩の中の自然の描かれ方に注目しながら、それぞれの心情を想像し、味わう。	10/18	10/21	8	
	近代の小説(二) 「山月記」	・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。	11/1	11/4	9	11/11
			11/8	11/11	10	
	現代の小説(四) 「卒業」	・仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。	11/29	12/2	11	12/6
	戦争と文学(二) 「血であがなったもの」	・出来事の経緯や人物の発言を基に心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。	12/6	12/9	12	
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16		

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
○思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

### ◇ 年間学習計画〔国 語〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
古典探究	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(3)・後期(3)

#### 1 学習目標

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化に対する理解を深める姿勢を養う。

#### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	古文編第一部 説話(一)『古本説話集』 随筆(一)『方丈記』	・平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、滑稽話の面白さを味わう。 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。	5/10	5/13	1	5/27
	漢文編第一部 故事・寓話 三国志の世界『十八史略』	・現在使用されている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・諸葛亮が劉備に進言した策について理解し、両者の関係を把握する。	5/17	5/20	2	
	古文編第一部 物語(一)『竹取物語』	・平安初期に書かれた作る物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。	5/31	6/3	3	6/17
	漢文編第一部 漢詩の鑑賞 不思議な世界『搜神記』	・漢詩の表現技法への理解を深め、人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・古代中国の人々の想像力と超常的な存在に対する見方、考え方に触れる。	6/7	6/10	4	
	古文編第一部 説話(二)『沙石集』 随筆(二)『枕草子』	・庶民教化を目的とした中世の説話を読み、人のどのような行為を戒めようとしたのかを読み解く。 ・作者が取り上げている事物や対象、経験などを通して、当時の人のものの見方や考え方に触れる。	6/28	7/1	5	7/12
	漢文編第二部 逸話『説苑』『新序』	・古代の臣下の立場を理解し、呉王に対する少孺子の説得の巧みさを読み取る。 ・前半の逸話と後半の論説とを読み、人にとっての宝とはどのようなものかについて理解を深める。	7/12	7/15	6	
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22		
後期	古文編第一部 和歌・俳諧 古文編第二部 説話(三)『御伽草子』	・和歌や俳諧の特色を理解し、時代を追って作品を鑑賞する。 ・昔話として現代まで継承された話を読み、現実と非現実が入り混じる世界に生きる登場人物の心境を読み取る。	10/4	10/7	7	10/21
	漢文編第二部 項羽と劉邦『史記』	・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。	10/11	10/14	8	
	古文編第二部 日記『紫式部日記』 評論『無名草子』	・『源氏物語』の作者が後宮に出仕した時の日記を読み、内面の思いに触れる。 ・著名な作品の作者を批評した文章を読み、歴史伝承の仕方の一端に触れる。	10/25	10/28	9	11/11
	漢文編第二部 諸家の思想『孟子』『老子』『荘子』『韓非子』	・古代中国思想について理解を深める。	11/1	11/4	10	
	古文編第二部 物語(二)『大鏡』 物語(三)『平家物語』	・実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ・登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。	11/22	11/25	11	12/6
	漢文編第二部 名家の文章『昌黎先生文集』『柳先生文集』『歐陽文忠公文集』	・作者が例え話を通して述べようとしたことを読み取る。 ・作者の思いを読み取り、ものの見方や考え方を深める。	12/6	12/9	12	
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16		

#### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
○思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔地理歴史〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
地理総合	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

### 1 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	地球上の位置と時差	緯度の違いや時差が人々の生活に与える影響を理解する。	5/10	5/13	1	5/27
	地図の役割と種類	地図の種類とその役割を理解する。	5/24	5/27		
	結びつきを深める現代世界	国家の三要素と我が国の領域、排他的経済水域を理解する。			2	6/17
	世界の地形と人々の生活	地形と人々の生活の関わりを理解する。	6/7	6/10		
	世界の気候と人々の生活	気候と人々の生活の関わりを理解する。	6/14	6/17	3	7/12
			6/28	7/1		
7/12	7/15					
夏期講習	前期試験対策		7/19	7/22		
後期	世界の言語・宗教と人々の生活	言語、宗教が人々の生活に与える影響を理解する。	10/4	10/7	4	10/21
	歴史的背景と人々の生活	様々な歴史的背景が人々の生活に与えてきた影響を理解する。	10/18	10/21		
	世界の産業と人々の生活	産業の発展が人々の生活に与える影響を理解する。	10/25	10/28	5	11/11
			11/8	11/11		
	地球的課題と国際協力	地球的課題の解決に向けた取り組みを理解する。	11/29	12/2	6	12/6
	自然環境と防災	我が国の地形・気候の特徴を理解する。 自然災害に対する防災・減災のための対策を考える。	12/6	12/9		
	冬期講習	後期試験対策		12/13	12/16	

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図等を用いて、地理に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連、地理的な課題の解決策について、多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔地理歴史〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
歴史総合	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

### 1 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	近代化への問い アジアの繁栄と西洋近代 の形成	交通と交易 産業と人口 国民の義務 労働と家族 近代国家における教育 人の移動と衛生問題	5/10	5/13	1	5/27
		18世紀の東アジア 結び付くアジア諸地域 18世紀のヨーロッパとアジア 市民革命 産業革命 世界市場 自由主義	5/17	5/20		
	世界の一体化と多様な近代化	日本の開国 明治維新 立憲制の広まり 日本の産業革命	5/31	6/3	2	6/17
		帝国主義と植民地 日清戦争 帝国主義諸国の競合 20世紀はじめの世界	6/7	6/10		
	国際秩序の変化や大衆社会への問い 第一次世界大戦と大衆社会	大衆化への問い 第一次世界大戦 国際協調体制 ソヴィエト連邦の成立	6/28	7/1	3	7/12
		アメリカ合衆国の台頭 アジアの経済成長 反植民地主義 民主主義の進展 大衆化を支えるテクノロジー	7/5	7/8		
夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/		
	経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌 アジア・アフリカと大衆社会 国際協調体制の 崩壊 日中戦争 第二次世界大戦	10/4	10/7	4	10/21
		連合国の戦後構想 アジア太平洋戦争と日本の敗戦 連合国の占領政策 再編されるアジアと冷戦	10/11	10/14		
	グローバル化への問い 冷戦と世界経済	グローバル化への問い 冷戦の拡大と第三勢力 キューバ危機と核兵器の管理 地域紛争	10/25	10/28	5	11/11
		計画経済と開発 冷戦下の日本 日本と欧米先進国の経済 成長 地域連携の拡大 ベトナム戦争と冷戦構造の変容	11/1	11/4		
	世界秩序の変容と日本 現代的な諸課題の形成と 展望	問い直される近代 石油危機と経済の自由化 アジアの経済発展と日本 冷戦の終結と世界	11/15	11/18	6	12/6
		拡散する地域紛争 民主化の進展 グローバル化と地域統 合 岐路に立つ世界と日本	11/22	11/25		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想を説明したりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔地理歴史〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
世界史探究	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(3)・後期(3)

1 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	古代文明の出現 西アジアと地中海周辺	古代オリエントとエーゲ海地域 南アジアの古代文明 東アジアにめばえた文明 古代オリエントの統一 古代ギリシア ローマ帝国 イスラーム世界の成立 中世初期東西ヨーロッパ	5/10	5/13	1	5/27
	南アジア 東南アジア	インド世界の形成 海の道の形成と東南アジア 東南アジア諸国の再編成	5/17	5/20	2	
	東アジアと中央ユーラシア アフリカ、オセアニア、 古アメリカ	古代帝国の誕生 中国の分裂と多様化 隋唐帝国 草原地帯のトルコ化とイスラーム化 アフリカ・オセアニア・古アメリカ	5/31	6/3	3	6/17
	イスラーム世界の拡大と 繁栄 中世ヨーロッパ	イスラーム世界の発展 中世ヨーロッパ社会の展開・成熟・文化・再編 ルネサンス	6/7	6/10	4	
	中華世界の変容とモンゴ ル帝国 インド洋海域世界の発展 と東南アジア	唐の崩壊後 宋代 モンゴル帝国 元の成立 イスラームのインドとインド洋海域への浸透 東南アジア世界の発展	6/21	6/24	5	
	大交易時代と世界の一体 化	アジア交易圏の再編と活況 ポルトガルのアジア進出 明と日本・朝鮮の動向 一体化に向かう世界 大交易時代の世界	6/28 7/5	7/1 7/8	6	7/12
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22		
後期	ユーラシア諸帝国の繁栄 主権国家体制の形成と地 球規模での交易の拡大	中央アジアと西アジアの繁栄 ムガル帝国 清と東アジア 宗教改革 オランダの繁栄 啓蒙専制国家の発展	10/4	10/7	7	10/21
	国民国家と近代社会の形成 世界市場の形成とアジア 諸国の変容	産業革命と工業化 アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 フランス革命とウィーン体制 自由主義の台頭 南アジア・東南アジアの植民地化 アヘン戦争	10/11	10/14	8	
	アジア・アフリカ諸国の統 治再編と世界分割の進行 第一次世界大戦の展開	西アジア・中央アジアの変革 南アジア・東南アジアの民族運動 第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制 アジア・アフリカの国家形成の動き	10/25	10/28	9	11/11
	国際協調体制の動揺と第 二次世界大戦 第二次世界大戦と戦後の 東アジア	世界恐慌 国際協調体制の動揺 第二次世界大戦の開戦と展開 アジア・太平洋戦争と日本の敗戦 アジア諸国の独立と脱植民地化 朝鮮戦争と東アジアの冷戦	11/1	11/4	10	
	冷戦の世界化と国際制度 冷戦の変容・終結と経済 のグローバル化	冷戦 アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力 平和共存と社会主義圏の多様化 冷戦の変容・終結 アメリカの復調とグローバル化	11/15	11/18	11	
	21世紀の地球的課題と人 類社会	グローバル化にともなう世界の変容 地球的諸課題 新たな秩序変容	11/22 11/29	11/25 12/2	12	12/6
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16		

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想を説明したりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔公 民〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
公 共	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

1 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前 期	青年期を生きる私たち 他者とともに生きる人間 としてのあり方 公共的な空間における倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期の特徴を理解し、自己形成の課題にどのように向き合うべきか考える。</li> <li>三大世界宗教の特色を理解する。</li> <li>功利主義と義務論の二つの考え方について、幸福や公正といった価値と関連させて理解する。</li> </ul>	5/10	5/13	1	5/27
	公共的な空間における基本的原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代民主政治の成立と社会契約説について理解する。</li> <li>法の支配、立憲主義、人権保障などの民主主義の原理を理解する。</li> <li>日本国憲法の成立過程と理念を理解する。</li> </ul>	6/7	6/10	2	6/17
	民主政治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治における住民参加のあり方について考える。</li> <li>国会・内閣のしくみと役割を理解する。</li> <li>日本の選挙制度と課題を理解し、投票の意義を考える。</li> </ul>	6/21	6/24	3	7/12
	法の働きと私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>法や社会規範の意義や役割を理解する。</li> <li>市民生活における私法の役割、原則を理解する。</li> <li>司法制度を理解し、国民の司法参加の意義を考える。</li> </ul>	7/12	7/15		
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後 期	現代の経済と市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の企業の特徴、市場経済のしくみを理解する。</li> <li>戦後の日本経済の動向と課題について理解する。</li> </ul>	10/4	10/7	4	10/21
	市場経済における金融の働き 財政の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融のしくみ、銀行や中央銀行の役割を理解する。</li> <li>ライフプランに合った資産形成の必要性を考える。</li> <li>財政のしくみと課題について理解する。</li> <li>公正な税制度、持続可能な財政のあり方を考える。</li> </ul>	10/25	10/28	5	11/11
	持続可能な社会保障制度 私たちの職業生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会保障制度のしくみと課題について理解する。</li> <li>持続可能な社会保障制度のあり方考える。</li> <li>労働者の権利を理解し、現代日本の雇用・労働問題について考える。</li> </ul>	11/22	11/25	6	12/6
	国際社会のなかで生きる 私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会のルールと現状を理解し、諸課題の解決策を考える。</li> </ul>	12/6	12/9		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。また、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を深めている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔公 民〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
倫 理	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

### 1 学習目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	人間の心のあり方	・人間とは何か、青年期の特徴及び課題について、自己の問題として考える。	5/17	5/20	1	5/27
	ギリシャの思想	・ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想の特色を理解する。	5/24	5/27		
	キリスト教 イスラーム	・キリスト教とイスラームの基本的な考え方とともに、歴史的な成立過程や展開について理解する。	5/31	6/3	2	6/17
	仏教 中国の思想	・仏教の基本的な考え方や歴史的展開を理解する。 ・主に儒家と道家の思想を、東アジア地域への影響も含めて理解する。	6/14	6/17		
	近代と人間尊重の精神 近代思想の展開	・近代西洋における人間理性を中心とする世界観への変化を、ルネサンス、宗教改革、経験論、合理論、社会契約説を通じて理解する。	6/28	7/1	3	7/12
	人格の尊厳と人倫の思想	・ドイツ観念論の代表的思想家であるカントとヘーゲルの思想の概要を理解する。	7/5	7/8		
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	社会変革の思想	・産業革命後の社会の中で生まれた功利主義や社会主義、アメリカで発達したプラグマティズムの思想を理解する。	10/11	10/14	4	10/21
	理性への疑念／人間観・言語観の問いなおし／他者・自然とのかかわり	・19世紀以降の実存主義、フランクフルト学派、その他の現代思想の人間観を理解する。	10/18	10/21		
	日本人の精神風土 仏教と日本人の思想形成	・日本人の自然観・宗教観・倫理観について考察する。 ・仏教の日本的展開を理解し、日本人の思想形成への影響を考える。	11/1	11/4	5	11/11
	儒教と日本人の思想形成 国学の思想 庶民の思想	・儒教の日本的展開を理解し、日本人の思想形成への影響を考える。 ・国学、庶民の思想について理解する。	11/8	11/11		
	西洋思想と日本人の近代化	・西洋思想の受容が日本人の近代化における思想形成にどのような影響を与えたかを考える。	11/15	11/18	6	12/6
	現代の諸課題と倫理	・生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、平和に関する現代の倫理的諸課題について考える。	11/29	12/2		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	古今東西の思想を通して、より深く思索するための概念や理論について理解し、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	他者と共によりよく生きる自己の生き方や、現代の倫理的諸課題について、論理的に思考し思索を深めたり、説明や対話をしたりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔公 民〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
政治・経済	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

### 1 学習目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格 期限
前期	民主政治の基本原則 日本国憲法の基本原則	政治とは何かを認識する。 法の支配の歴史を学ぶとともに、人権・社会権が確立した歴史と現状を理解する。さらに世界に存在するさまざまな政治機構について学ぶ。 日本国憲法の成立過程や内容について、理解する。 基本的人権や平和主義の意義について深く理解する。	5/10	5/13	1	5/27
			5/24	5/27		
	日本の政治機構 現代政治の特質と課題 現代の資本主義経済	日本の国会・内閣・裁判所の仕組みや役割について考察する。戦後日本の政党政治はどのように変化してきたかを理解する。資本主義経済の発展と変容について学ぶ。	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
現代経済のしくみ 日本経済の発展と現状	経済主体と経済の循環について学ぶ。 戦後の日本経済はどのような変遷をたどったかを理解する。 バブル経済崩壊後の日本経済について理解する。	6/21	6/24	3	7/12	
		7/5 7/12	7/8 7/15			
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	福祉社会と日本経済の課題 現代日本の諸課題	公害と環境保全、農業・食料問題、雇用と労働問題などを学び社会保障や福祉について考える。 少子高齢社会の社会保障、地域社会の活性化など諸課題にどう取り組むか考える。	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
	国際政治のしくみ 複雑化する国際政治と日本	国際法の歴史とその特質を理解し、その役割を認識する。 国際連合の目的・機能を理解する。 第二次大戦後の国際政治の動向と、軍縮の歩み、そして現在直面している国際問題について学び、国際協力の必要性を認識し、日本の果たすべき役割について考える。	10/25	10/28	5	11/11
			11/8	11/11		
	国民経済と国際経済 世界経済の現状と課題 国際社会の諸課題	戦後国際経済体制の展開について学ぶ。 地球環境問題と資源・エネルギー問題、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現について考える。	11/22	11/25	6	12/6
			11/29 12/6	12/2 12/9		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	諸資料から、社会の在り方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明している。
○主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

### ◇ 年間学習計画〔数 学〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
数 学 I	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(3)・後期(3)

#### 1 学習目標

高校数学で最も基本となる部分の基礎学力をしっかりと身に付けることを第一に、基礎学力を発展させ事象を数学的に考察・処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

#### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前 期	数の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数の計算</li> <li>計算の利用（割合・速さなど）</li> </ul>			1	5/27
	文字と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を使った式</li> <li>多項式の計算</li> <li>展開の工夫と利用</li> </ul>	5/10	5/13	2	
	文字と式 実数	<ul style="list-style-type: none"> <li>因数分解</li> <li>平方根</li> <li>数の分類</li> </ul>	5/31	6/3	3	6/17
	方程式と不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次方程式</li> <li>1次不等式の解き方</li> <li>2次方程式の解の公式</li> </ul>	6/7	6/10	4	
	鋭角の三角比 三角形の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形</li> <li>三角比の利用</li> <li>三角形の面積</li> </ul>	6/28	7/1	5	
	三角比の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>正弦定理</li> <li>鈍角の三角比</li> <li>鈍角の三角比の利用</li> </ul>	7/5	7/8	6	7/12
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22		
後 期	2次関数とそのグラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数</li> <li>2次関数とそのグラフ</li> </ul>			7	10/21
	2次関数とそのグラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>y = ax^2 + bx + c</math> のグラフ</li> </ul>	10/4	10/7	8	
	2次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数の最大値・最小値</li> <li>2次関数のグラフと2次方程式</li> </ul>	10/25	10/28	9	11/11
	2次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数のグラフと2次不等式</li> <li>いろいろな2次不等式</li> </ul>	11/8	11/11	10	
	データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの特徴の調べ方</li> <li>四分位数と箱ひげ図</li> <li>相関関係</li> </ul>	11/15	11/18	11	
	集合と論証	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合</li> <li>命題と証明</li> </ul>	11/29	12/2	12	12/6
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16		

#### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に解釈・表現・処理する技能を身に付ける。
○思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
○主体的に学習に取り組む態度	積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔数 学〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
数 学 II	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(3)・後期(3)

1 学習目標

数学的な見方、考え方を働かせ、概念や法則の理解を深め、基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート		
			日曜	水曜	No.	合格期限	
前期	方程式・式と証明	<ul style="list-style-type: none"> <li>3次の乗法公式と因数分解</li> <li>分数式の計算</li> <li>2次方程式の解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二項定理(パスカルの三角形)</li> <li>複素数とその計算</li> <li>解と係数の関係</li> </ul>	5/17	5/20	1	5/27
		<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式のわり算</li> <li>高次方程式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>因数定理</li> <li>等式・不等式の証明</li> </ul>	5/24	5/27	2	
	図形と方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>直線上の点の座標</li> <li>直線の方程式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面上の点の座標</li> <li>2直線の関係(平行・垂直)</li> </ul>	5/31	6/3	3	6/17
		<ul style="list-style-type: none"> <li>円の方程式</li> <li>不等式の表す領域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円と直線</li> <li>連立不等式の表す領域</li> </ul>	6/14	6/17	4	
	三角関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般角</li> <li>三角関数の相互関係</li> <li>三角関数の性質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角関数</li> <li>三角関数のグラフ</li> </ul>	7/5	7/8	5	7/12
		<ul style="list-style-type: none"> <li>加法定理</li> <li>弧度法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加法定理の応用</li> </ul>	7/12	7/15	6	
夏期講習	前期試験対策		7/19	7/22			
後期	指数関数と対数関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数の指数</li> <li>分数の指数</li> <li>指数関数の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>累乗根</li> <li>指数関数とそのグラフ</li> </ul>	10/11	10/14	7	10/21
		<ul style="list-style-type: none"> <li>対数</li> <li>対数関数とそのグラフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対数の性質</li> <li>常用対数</li> </ul>	10/18	10/21	8	
	微分と積分	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均変化率</li> <li>導関数</li> <li>接線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>微分係数</li> <li>導関数の計算</li> </ul>	11/8	11/11	9	11/11
		<ul style="list-style-type: none"> <li>関数の増加・減少</li> <li>関数の最大・最小</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数の極大・極小</li> </ul>	11/15	11/18	10	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>不定積分</li> <li>定積分</li> </ul>		11/22	11/25	11	12/6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積</li> </ul>		12/6	12/9	12		
冬期講習	後期試験対策		12/13	12/16			

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	数学的活動を重視し、既習の知識と関連付け、基本的な概念や原理・法則をより深く体系的に理解している。
○思考・判断・表現	関数の局所的な変化に着目し、日常・社会の事象などを数学的に捉えて問題解決したり、解決の過程を振り返ったりして、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察している。
○主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔数 学〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
数 学 A	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

### 1 学習目標

数学的な見方、考え方を働かせ、概念や法則の理解を深め、基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	集合と順列	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 集合</li> <li>• 和の法則、積の法則</li> <li>• いろいろな順列と、その利用</li> </ul>	5/17	5/20	1	5/27
			5/24	5/27		
	組合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 組合せ</li> <li>• 組合せの利用</li> </ul>	5/31	6/3	2	6/17
			6/14	6/17		
確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 確率の計算</li> <li>• 独立な試行の確率</li> <li>• 反復試行の確率</li> <li>• 条件つき確率</li> </ul>	7/5	7/8	3	7/12	
		7/12	7/15			
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	三角形の性質 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 三角形の性質</li> <li>• 重心、内心、外心</li> <li>• 円の接線</li> <li>• 円周角の定理</li> <li>• 円に内接する四角形</li> </ul>	10/11	10/14	4	10/21
			10/18	10/21		
	円の性質 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接線と弦のつくる角</li> <li>• 方べきの定理</li> <li>• 直線や平面の位置関係</li> <li>• 多面体</li> </ul>	11/1	11/4	5	11/11
			11/8	11/11		
	整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2進法</li> <li>• 平面上、空間上の点の位置</li> <li>• 最大公約数、最小公倍数</li> <li>• ユークリッドの互除法</li> </ul>	11/29	12/2	6	12/6
			12/6	12/9		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	場合の数と確率や、図形の性質等についての基本的な概念を理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深めている。
○思考・判断・表現	事象の起こりやすさを判断する力、図形の性質を見出し論理的に考察する力、そして数学と人間活動との関わりに着目し、数理的に考察する力を身に付けている。
○主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

### ◇ 年間学習計画〔数 学〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
数 学 B	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(3)・後期(3)

#### 1 学習目標

数学的な見方、考え方を働かせ、概念や法則の理解を深め、基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。

#### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート		
			日曜	水曜	No.	合格期限	
前期	数列とその和 漸化式と数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 数列</li> <li>• 等差数列</li> <li>• 等比数列</li> <li>• 複利法と等比数列</li> </ul>	5/10	5/13	1	5/27	
			5/24	5/27			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 和の記号<math>\Sigma</math></li> <li>• 階差数列</li> </ul>	6/7	6/10	2	6/17	
	6/14		6/17				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 漸化式と一般項</li> <li>• 数学的帰納法</li> </ul>	6/21	6/24	3	7/12	
			7/12	7/15			
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/		
後期	確率分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 確率</li> <li>• 確率変数と確率分布</li> <li>• 二項分布</li> </ul>	10/4	10/7	4	10/21	
			10/18	10/21			
	統計的な推測	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 確率密度関数</li> <li>• 正規分布</li> <li>• 二項分布と正規分布</li> </ul>	10/25	10/28	5	11/11	
			11/8	11/11			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 母集団と標本</li> <li>• 母平均の推定</li> <li>• 仮説検定</li> </ul>	11/22	11/25	6	12/6
				12/6	12/9		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/		

#### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、問題発見・解決の過程を自立的に遂行できるようにするために、その基礎をなす技能を身に付ける。
○思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。
○主体的に学習に取り組む態度	粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりしようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔理 科〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
物理基礎	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり科学的に探究しようとする態度を養い、自然現象について理解を深め、日常生活の中で見られる物理的な事象に興味・関心を持つ姿勢を育成する。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	運動の表し方 変位と速度 合成速度と相対速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち、速さについて理解する。</li> <li>物体の運動の向きと移動距離を合わせた量を変位ということを理解し、移動距離と変位の違いを知る。</li> <li>合成速度と相対速度の求め方について理解する。</li> </ul>	5/10	5/13	1	5/27
		5/24	5/27			
	力とつり合い 力の合成と分解 質量と加速度の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>力の3要素について理解する。</li> <li>力の合成と分解のしかたの理解を深める。</li> <li>物体の質量と、物体に生じる加速度の関係について理解する。</li> </ul>	6/7	6/10	2	6/17
		6/14	6/17			
	6/21	6/24				
	仕事 仕事率 位置エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で使用するエネルギーに着目し理解を深める。</li> <li>力の向きと仕事の関係について理解する。</li> <li>重力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解する。</li> </ul>	6/28	7/1	3	7/12
		7/12	7/15			
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	温度と熱 熱と仕事 いろいろな波	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶対温度とセルシウス温度の関係について理解する。</li> <li>波の速さ、波長、周期、振動数の関係を理解する。</li> <li>内部エネルギーと仕事の関係（熱力学第1法則）について理解する。</li> </ul>	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
	電流と電気抵抗 電流がつくる磁場	<ul style="list-style-type: none"> <li>電流を流す物質の長さや太さと、電気抵抗の関係性を理解する。</li> <li>磁力や磁場、磁場の向きと磁力線について理解する。</li> <li>電流が磁場から力を受けることを理解する。</li> </ul>	10/25	10/28	5	11/11
			11/1	11/4		
			11/8	11/11		
	エネルギーの変換と保存 原子核のエネルギー 放射線の利用と安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーが何をすることができるのか理解する。</li> <li>原子の構造、同位体、核エネルギーについて理解する。</li> <li>放射能と放射線の単位、放射線の人体への影響について理解する。</li> </ul>	11/22	11/25	6	12/6
		12/6	12/9			
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	物理的な現象について基本的な概念や原理・法則の知識や技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	物理的な現象について科学的に考察し、自分の考えを深め、表現している。
○主体的に学習に取り組む態度	物理的な現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

### ◇ 年間学習計画〔理科〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
化学基礎	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

#### 1 学習目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てる。
- ・化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

#### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	1編 科学と人間生活 ・化学とは何か ・物質の成分と構成元素	物質の成分 物質の構成元素 物質の三態	5/10	5/13	1	5/27
			5/24	5/27		
	2編 物質の構成 ・原子の構造と元素の周期表	原子の構造 電子配置と周期表	5/31	6/3	2	6/17
			6/21	6/24		
・化学結合	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合 化学結合と物質の分類	7/5	7/8	3	7/12	
		7/12	7/15			
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	3編 物質の変化 ・物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質量 液体の濃度 化学反応の表し方 化学反応式の表す量的関係	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
	・酸と塩基	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩の生成 中和滴定	10/25	10/28	5	11/11
			11/15	11/18		
・酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の応用	11/22	11/25	6	12/6	
		12/6	12/9			
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

#### 3 評価の観点

- ・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	日常生活や社会を支える物質の化学的な知識や技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養い、それを表現できる。
○主体的に学習に取り組む態度	多くの物質の適切な使用の重要性について考え、科学的に探究し、自己を向上させようとしている。

- ・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔理科〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
化学	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(8)・後期(8)

1 学習目標

- ・物質を理解するために、科学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
- ・観察、実験を通じて科学的な考え方を身に付け、自然への理解や探究方法を深める。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	物質の状態変化	物質の状態と粒子の熱運動 状態変化とエネルギー	5/10	5/13	1	5/27
			5/17	5/20		
	気体の性質	気体の体積の変化 気体の状態方程式	5/24	5/27	2	6/17
			5/31	6/3		
	固体の構造	結晶と化学結合 結晶の構造	6/7	6/10	3	6/17
			6/14	6/17		
	溶液の性質	希薄溶液の性質 コロイド	6/14	6/17	4	7/12
6/28			7/1			
化学反応と電気エネルギー	電気分解 電池	7/5	7/8	5	7/12	
反応速度	反応の速さ 化学反応と触媒	7/12	7/15	6	7/12	
夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22			
後期	化学平衡	化学平衡とその移動 電離平衡	10/4	10/7	7	10/21
			10/11	10/14		
	非金属元素と周期表	周期表と元素の性質 水素と希ガス ハロゲンとその化合物 酸素・硫黄とその化合物 炭素・ケイ素とその化合物	10/18	10/21	8	11/11
			10/25	10/28		
	典型金属元素 遷移元素 生活と無機物質 有機化合物の特徴と構造 有機化合物の分析	アルカリ金属とその化合物 2族元素とその化合物 アルミニウム・亜鉛などとその化合物 遷移元素の特徴 金属イオンの分離と確認 金属の利用 セラミックス 有機化合物の特徴と分類 有機化合物の分析 飽和炭化水素 不飽和炭化水素	11/8	11/11	9	11/11
			11/15	11/18		
			11/22	11/25		
酸素を含む脂肪族化合物 芳香族化合物 生活と有機化合物 高分子化合物の分類と特徴 合成高分子化合物 天然高分子化合物 生活と高分子化合物	アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸とエステル 芳香族炭化水素 酸素を含む芳香族化合物 窒素を含む芳香族化合物 有機化合物の分離 医薬品 染料と洗剤 糖類とアミノ酸 高分子化合物の分類と特徴 合成繊維 プラスチック ゴム 糖類 タンパク質 核酸 繊維 衣料 高分子化合物の利用	11/29	12/2	11	12/6	
		12/6	12/9			
		12/13	12/16			
冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16			

3 評価の観点

- ・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	化学の研究過程において、課題の発見と解決に必要な知識と技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	実生活で自己の関わりから化学の問いを見だし、自分で課題を立て情報を集め、整理分析してまとめて表現している。
○主体的に学習に取り組む態度	化学の研究に主体的かつ協働的に取り組み、新たな価値を創造し自己を向上させようとしている。

- ・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔理 科〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
生物基礎	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を育成する。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	真核細胞の構造 原核細胞の構造 細胞の共通性と多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>真核細胞と原核細胞の構造を学習し、細胞の共通性と違いについて理解する。</li> <li>細胞、組織、器官の関係性を理解する。</li> <li>細胞小器官を図で整理する。</li> <li>ウイルスが非生物と考えられている理由を知る。</li> </ul>	5/17	5/20	1	5/27
			5/24	5/27		
	遺伝情報と形質 DNAと染色体 ゲノム	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝はDNAによって担われていることを理解する。</li> <li>遺伝情報にはさまざまな形質に対応する情報が含まれ、父母の双方からの形質が別々に伝わることで、同じ生物の間でもわずかな形質の違いが生じることを理解する。</li> <li>ゲノムという単語の由来を理解する。</li> </ul>	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
DNAからタンパク質へ RNAとDNAの違い 転写と翻訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの塩基配列と、それに対応するタンパク質の関係を見いだす。</li> <li>アミノ酸の構造と種類について理解を深める。</li> <li>RNAの特徴とDNAとの違いを理解する。</li> <li>転写と翻訳の過程について理解する。</li> </ul>	7/5	7/8	3	7/12	
		7/12	7/15			
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22		
後期	体内環境をつくる体液 体内環境を維持するしくみ 自律神経系による調節 ホルモンによる調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境と体液の関係について理解する。</li> <li>ヒトの体内環境を一定に保とうとする調節のしくみを理解する。</li> <li>日常の場面から交感神経と副交感神経の作用について考える。</li> <li>内分泌腺と分泌されるホルモン、その作用について知り、ホルモンが受容されるしくみを理解する。</li> </ul>	10/11	10/14	4	10/21
			10/18	10/21		
	自然免疫と適応免疫 記憶細胞と二次応答 免疫グロブリン 予防接種とワクチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>食作用により異物を除去する機構について理解する。</li> <li>適応免疫を支えるリンパ球の種類と役割を理解する。</li> <li>免疫のしくみについて俯瞰的に整理して理解する。</li> <li>免疫グロブリンのはたらきや特徴を理解する。</li> <li>予防接種とワクチンのしくみを理解する。</li> </ul>	11/1	11/4	5	11/11
			11/8	11/11		
環境形成作用 階層構造 遷移と環境 ギャップ更新と二次遷移	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木のある場所とない場所における環境の違いを見いだす。</li> <li>森林の階層構造と光環境の関係について理解する。</li> <li>植生の遷移過程について理解する。</li> <li>一次遷移と二次遷移との違いに注目して自然災害について考える。</li> </ul>	11/29	12/2	6	12/6	
		12/6	12/9			
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16		

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	生物の基本的な概念や原理・法則の知識や技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	生物と環境について科学的に考察し、自分の考えを深め、表現している。
○主体的に学習に取り組む態度	生物に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔理科〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
生物	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(8)・後期(8)

### 1 学習目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験やデータの分析を行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	生物の進化	・生命の起源と生物進化の道筋について学び、生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。	5/10	5/13	1	5/27
	有性生殖と遺伝的多様性	・遺伝的に多様な組み合わせをもつ子が生じることを理解するとともに、遺伝子の連鎖と組換えについても理解する。	5/17 5/24	5/20 5/27	2	
	生物の系統	・生物の分類の方法、系統を明らかにする方法、現在明らかになっている生物の系統について学ぶ。	5/31	6/3	3	6/17
	生命現象と物質	・細胞小器官や細胞の働きとタンパク質の働きを理解する。	6/7 6/14	6/10 6/17	4	
	代謝	・光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられ、呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されるしくみを理解する。	6/28 7/5	7/1 7/8	5	7/12
	遺伝現象と物質	・DNAの構造、遺伝情報の複製・転写・翻訳のしくみ、そして遺伝子発現の調節を学ぶ。	7/12	7/15	6	
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22		
後期	発生と遺伝子の発現	・配偶子形成と受精、卵割から器官分化の始まりまでの過程について学ぶとともに、細胞の分化と形態形成のしくみを理解する。	10/4 10/11	10/7 10/14	7	10/21
	刺激の受容と反応	・外界の刺激を受容し、刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。	10/18	10/21	8	
	動物の行動	・行動に生まれつきのものと学習によるものがあることを理解する。	10/25 11/8	10/28 11/11	9	11/11
	植物の環境応答	・植物の配偶子形成と受精、胚発生と種子の形成、花器官の分化について学ぶ。	11/15	11/18	10	
	個体群と生物群集	・生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。	11/22 11/29	11/25 12/2	11	12/6
	生態系	・生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに、生物多様性の重要性を認識する。	12/6	12/9	12	
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16		

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	生物の概念や原理・法則について、より発展的な知識や技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	生物とそれを取り巻く環境について特徴を理解し、表現することができる。
○主体的に学習に取り組む態度	生物に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度が育っている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔理科〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
地学基礎	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

1 学習目標

- ・私たちの住む地球の大地、空と海、歴史について興味・関心をもち、理解を深める。
- ・宇宙の構造と進化について探究する。
- ・自然の恵みと防災について学習し、自然環境の変化に対する取り組み方を見いだす。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	大地とその動き 火山活動と地震	地球の形と大きさ・地球の構造 地球内部の動きとプレート 大地形の形成と地質構造・変成岩と変成作用 火山噴火の多様性 火成岩 地震の発生・地震の起こる場所	5/10	5/13	1	5/27
			5/24	5/27		
	地球の熱収支 大気と海水の運動	地球大気の大気構造・地球の大気で起こる現象 地球の熱収支 大気や海水の運動の原因 大気の大循環 海水とその運動 大気と海水の相互作用	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
6/21	6/24					
	宇宙の構造と進化	宇宙の誕生と宇宙の姿 太陽系の誕生 太陽系の構成 太陽の特徴 地球の特徴	6/28	7/1	3	7/12
			7/12	7/15		
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	地層と化石の観察 古生物の変遷と地球環境	地層の形成・地層からわかる情報 地球史の最初期・先カンブリア時代 古生代・中生代・新生代 人類の進化 地球環境の変化による生物の変遷	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
			10/25	10/28		
	日本の自然の恵みと防災 地球環境の考え方	日本の自然環境の特徴 日本の自然の恵み 気象災害と防災 地震による災害と防災 火山による災害と防災 地球環境の考え方	11/1	11/4	5	11/11
			11/8	11/11		
		自然環境の変動 これからの地球環境	自然環境の変化 人間活動がもたらす自然環境の変化 世界の取り組み 代替エネルギー 持続可能な発展へ	11/22	11/25	6
12/6				12/9		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

3 評価の観点

- ・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	地学基礎の正確な知識を理解し、技能を習得している。
○思考・判断・表現	宇宙や地球上の地学的な問題解決のために、知識や技能を応用でき、また自分の考えを論理的に表現できる。
○主体的に学習に取り組む態度	地学基礎のいろいろな課題に粘り強く取り組み、自ら学びを深めようとしている。

- ・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔保健体育〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
体育Ⅰ	前期(1)・後期(1)	前期(1)・後期(1)	前期(5)・後期(5)

1 学習目標

<p>1 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>3 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
---

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	体づくり運動	個人や仲間とのさまざまな運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図る。	5/10	5/13	1	7/12
	器械運動 マット運動 跳び箱	マット運動、跳び箱運動の器械の特性に応じて多くの「技」に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わう。	5/17	5/20		
			6/14	6/17		
	球技・ベースボール型 ソフトボール	キャッチボールやバッティングなどの基礎的・基本的技術を身に付ける。また、身に付けた個人技能を生かして簡易的なゲームを行うことを目指す。	6/28	7/1		
			7/5	7/8		
			7/12	7/15		
夏期講習						
後期	球技・ネット型 バドミントン	各種の技術を身に付け、安定したラケット操作とシャトル操作で空いた場所をめぐる攻防を展開し、簡易的なゲームを行うことを目指す。	10/4	10/7	2	12/6
			10/11	10/14		
			10/25	10/28		
	球技・ゴール型 バスケットボール	ドリブル・シュート・パスなどの基礎的な技術を身に付ける。また、ルールを理解し、簡易ゲームを通じて、個人技能や集団技能を活用し、作戦を立てて行うことができるようになる。	11/15	11/18		
			11/29	12/2		
	体育理論	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。	12/6	12/9		
冬期講習						

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	各種目の運動技能を身に付け、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。
○思考・判断・表現	自己や仲間の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを言葉や文章などで他者に伝えている。
○主体的に学習に取り組む態度	フェアプレーやルール、マナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。

・評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔保健体育〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
体 育 Ⅱ	前期(1)・後期(1)	前期(1)・後期(1)	前期(5)・後期(5)

### 1 学習目標

1 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
3 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	体づくり運動	手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合い、心と体の安定を図る。	5/10	5/13	1	7/12
	陸上競技 短距離・リレー	短距離走では力強いスタートから滑らかに中間走につなげて記録に挑戦し、リレーではバトンの受け渡しをスムーズに行い、相手と競争したりする楽しさや喜びを味わう。	5/17	5/20		
			5/31	6/3		
	球技・ゴール型 ラグビー	ラン・パス・トライなどの基礎的、基本的技術の習得を目標とし学習する。また、簡易ゲームにより、各自の役割に応じたボール操作と仲間との連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開しゲームを行う。	6/14	6/17		
			6/28	7/1		
7/5	7/8					
	夏期講習					
後期	球技・ネット型 バレーボール	パス・サーブ・スパイクなどの基礎的、基本的技術の習得を目標とし学習する。また、簡易ゲームにより、各自の役割に応じたボール操作と仲間との連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開しゲームを行うことを目指す。	10/4	10/7	2	12/6
			10/11	10/14		
			10/25	10/28		
	球技・ゴール型 サッカー	ドリブル・シュート・パスなどの基礎的、基本技術を身に付ける。また、ルールを理解し、簡易ゲームを通じて、個人技能や集団技能を活用し、作戦を立てて行うことができるようになる。	11/15	11/18		
			11/22	11/25		
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	11/29	12/2			
	冬期講習					

### 3 評価の観点

- レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	各種目の運動技能を身に付け、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。
○思考・判断・表現	自己や仲間の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを言葉や文章などで他者に伝えている。
○主体的に学習に取り組む態度	互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、健康・安全を確保している。

- 評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔保健体育〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
体育Ⅲ	前期(2)・後期(1)	前期(2)・後期(1)	前期(10)・後期(5)

### 1 学習目標

- 1 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- 2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 3 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	体づくり運動	自己の日常生活を振り返り、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るために、継続的な運動の計画を立てて取り組むことを目標とする。	5/10	5/13	1	6/17
	生涯スポーツ ポッチャ/ユニホック	ポッチャやユニバーサルホッケーの練習やゲームを通じて、個人技能や集団技能を活用し、作戦を立てて行うことができるようになる。	5/17	5/20		
			5/24	5/27		
	武道 柔道・剣道 ダンス 現代的なリズムのダンス	武道を通して、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。 ダンスは、身近な生活の動きや対極な動きの連携などを身に付け、練習や交流及び発表の場面で互いに助け合い、教え合う活動を行い、健康・安全を確保する。	5/31	6/3	2	7/12
			6/7	6/10		
			6/14	6/17		
	球技・ベースボール型 ソフトボール	基本的な技能を用いて、相手の守備位置やランナーの状況に応じたバット操作、安定したボール操作で仲間と協力して簡易的なゲームを展開する。	6/21	6/24		
			6/28	7/1		
			7/5	7/8		
	7/12	7/15				
夏期講習						
後期	球技・ネット型 テニス	ストロークや各種のショットの技能を身に付け、安定したラリーができるようになり、簡易的なゲームを行うことを目指す。	10/4	10/7	3	12/6
			10/18	10/21		
			11/1	11/4		
	11/8	11/11				
	11/22	11/25				
球技・ゴール型 ハンドボール	基本的なボール操作や空いた空間に走り込む動き等を身に付け、簡易的なゲームを展開する。					
体育理論	各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方や、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について理解する。また、スポーツ振興のための施策と諸条件、スポーツと環境について理解する。	12/6	12/9			
冬期講習						

### 3 評価の観点

- ・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	各種目の運動技能を身に付け、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。
○思考・判断・表現	自己や仲間の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを言葉や文章などで他者に伝えている。
○主体的に学習に取り組む態度	互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、合意形成に貢献し、健康・安全を確保している。

- ・評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔保健体育〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
保 健 1	通年(1)	前期(2)・後期(2)	前期(1)・後期(1)

1 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前 期	1単元 現代社会と健康  健康のとらえ方 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	健康の考え方やその保持増進の方法は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきており、健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択が重要となっていることや、わが国や世界では、さまざまな保健活動や対策などが行われていることを学習する。	6/7	6/10	1	6/17
	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患の回復	喫煙、飲酒、薬物乱用が心身にもたらす健康問題と社会問題について学ぶとともに、それらの問題を改善するための、個人や社会の対策について考える。 主な精神疾患と要因、予防と治療、精神保健の今日的課題について学ぶとともに、精神疾患の適切なケアのための社会環境について学習する。	6/21	6/24	2	7/12
	夏期講習					
後 期	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズと その予防 健康に関する意思決定 ・行動選択 健康に関する環境づくり	新興感染症や再興感染症といった現代の感染症の現状と今日的課題、予防対策について学ぶ。 性感染症・エイズの実態と課題について、日本および世界の現状を学ぶ。また、感染症予防について、個人や社会の対策について学習する。 健康の保持増進のための意思決定・行動選択の重要性と影響する要因について学び、よりよい意思決定・行動選択の方法や工夫の仕方について学ぶ。 健康づくりには、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりが重要であることを学ぶ。	11/1	11/4	3	11/11
	2単元 安全な社会生活  事故の原因と現状 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	わが国の不慮の事故の実態と事故発生に関連する要因について学ぶとともに、安全な社会を形成するための個人や社会の対策について考える。また、交通事故の防止の観点から、運転者の責任、個人や社会の対策等について学習する。 けがや急病に対する応急手当の意義や方法について学び、日常的な応急手当ができるようにする。また、心肺停止状態の人の命を救うために行う心肺蘇生法の意義と方法を学び、実習を通して正しく実施できるようにする。	11/22	11/25	4	12/6
	冬期講習					

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。
○主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔保健体育〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
保健 2	通年(1)	前期(2)・後期(2)	前期(1)・後期(1)

### 1 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	3単元 生涯を通じる健康  ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	各ライフステージの健康課題と社会からの支援について学ぶ。思春期における体と心の変化、思春期に起こりやすい健康問題について理解を深める。また、性意識やその男女差を知り、適切な意思決定・行動選択について考える。 妊娠・出産に伴う健康問題について学び、健康的な妊娠・出産をするための対策と母子保健サービスの活用について考える。また、望まない妊娠の問題点を考えるとともに、適切な避妊法について学習する。結婚生活を健康に過ごすための条件について学ぶとともに、健康な結婚生活に必要な考え方や行動について考える。	5/24	5/27	1	6/17
	中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	加齢による中高年の健康リスクを低下させるための対策について学び、高齢社会に必要な社会の取り組みについて考える。働くことの意義や働くことによって起こる健康問題について理解を深める。 労働が原因で起こるけがや病気を防止するための対策について学び、健康的な職業生活を送る上での取り組みや余暇の活用の仕方を考える。	6/21	6/24	2	7/12
	夏期講習					
後期	4単元 健康を支える環境づくり  大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康に関わる対策 ごみ処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生に関わる活動	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の健康への影響について学び、地球規模で起きている環境問題について、人々の健康と関連付けて考える。環境汚染による健康被害を防ぐための仕組みについて学ぶとともに、自分たちができる環境対策について考える。また、ごみ処理、上下水道整備、し尿処理といった環境衛生活動の重要性と現状について学ぶ。 食品の安全に関する今日的課題と、食品の安全性を確保するしくみについて学ぶとともに、食の安全を守るために人々に求められる役割を考える。	11/8	11/11	3	11/11
	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 様々な保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	わが国における保健・医療制度とさまざまな保健・医療サービスについて学ぶとともに、有効な活用の仕方を考える。医薬品の種類と正しい使い方、および医薬品の安全性を守る取り組みについて学び、有効な使用方法について考える。 国内では人々の健康づくりのために自治体や行政機関による対策が行われており、さらに国の枠を超えた保健活動や対策がとられていることを学ぶ。また、ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりや社会参加について考える。	11/29	12/2	4	12/6
	冬期講習					

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。
○主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔芸術〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
音楽Ⅰ	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに感性を深め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	声の世界 楽器の世界 基礎の楽典 日本の音楽 舞台芸術の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱（校歌ほか）</li> <li>基礎の楽典</li> <li>世界の声の鑑賞</li> </ul>	5/10	5/13	1	5/27
			5/24	5/27		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>基礎の楽典</li> <li>世界の楽器の鑑賞</li> </ul>	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>基礎の楽典</li> <li>能、狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎の鑑賞</li> </ul>	6/28	7/1	3	7/12
			7/5	7/8		
夏期講習						
後期	声の世界 楽器の世界 基礎の楽典 西洋音楽史 世界の音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>基礎の楽典</li> <li>西洋音楽の鑑賞1</li> </ul>	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>基礎の楽典</li> <li>西洋音楽の鑑賞2</li> </ul>	10/25	10/28	5	11/11
			11/8	11/11		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>基礎の楽典</li> <li>日本の音楽の鑑賞</li> </ul>	11/22	11/25	6	12/6
			11/29	12/2		
冬期講習						

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
○思考・判断・表現	音楽の要素やその関わりを感じ取り、表現の意図をもって表したり、よさや美しさを味わって聴いたりすることができる。
○主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

・評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔芸術〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
音楽Ⅱ	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

1 学習目標

音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	声の世界 楽典 追求クラシック	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>楽典</li> <li>声楽曲、独奏曲、協奏曲の鑑賞</li> </ul>	5/10	5/13	1	5/27
			5/24	5/27		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>楽典</li> <li>管弦楽曲、交響曲、吹奏楽の鑑賞</li> </ul>	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>楽典</li> <li>中世～近現代の音楽の鑑賞</li> </ul>	6/28	7/1	3	7/12
			7/5	7/8		
	夏期講習					
後期	声の世界 楽典 舞台芸術の世界 世界の声と楽器 日本の音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>楽典</li> <li>日本の音楽の鑑賞</li> </ul>	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>楽典</li> <li>舞台芸術の世界の鑑賞</li> </ul>	10/25	10/28	5	11/11
			11/8	11/11		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱</li> <li>楽典</li> <li>世界の声と楽器の鑑賞</li> </ul>	11/22	11/25	6	12/6
			11/29	12/2		
	冬期講習					

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	曲想と音楽の構造、文化的・歴史的背景との関わり、また音楽の多様性について理解を深めている。
○思考・判断・表現	音楽の要素やその関わりを感じ取り、考えたことをもとに独自の表現意図をもって表したり、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。
○主体的に学習に取り組む態度	表現や鑑賞の学習活動に、主体的・協働的に取り組もうとしている。

・評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔芸術〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
美術Ⅰ	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	・オリエンテーション ・表現と技法	美術とは何かを考え、美術を学ぶ目的を持つ。 さまざまな材料や表現技法について学ぶ。	5/10	5/13	1	5/27
			5/24	5/27		
	・絵画	絵画作品の表現方法について学び、実践する。	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
	・デザイン ・色彩	デザインの役割を理解し、目的を考えてデザインする。 色彩の基礎知識を学ぶ。	6/28	7/1	3	7/12
7/5			7/8			
夏期講習						
後期	・絵画表現と鑑賞 ・彫刻	さまざまな絵画表現について学ぶ。 立体表現の魅力と技法について学ぶ。	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
	・映像メディア表現	写真、動画、コンピュータ等による表現について学ぶ。	10/25	10/28	5	11/11
			11/8	11/11		
	・美術史 ・学びの振り返り	作品が作られた時代とその背景を知る。 これからの自分と美術との関わりについて考える。	11/22	11/25	6	12/6
11/29			12/2			
冬期講習						

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
○思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって見方や感じ方を深めたりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

・評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔芸術〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
美術Ⅱ	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	・オリエンテーション ・美術史	美術を学ぶ目的を持ち、表現とは何かを考える。	5/10	5/13	1	5/27
		美術の起源から現代まで、美術のつながりを知る。	5/24	5/27		
	・絵画	絵画作品の主題、表現、技法について学ぶ。	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
	・絵画 ・デザイン ・彫刻	様々な表現方法と技法、材料の関わりを学ぶ。	6/28	7/1	3	7/12
			7/5	7/8		
夏期講習						
後期	・工芸	郷土の民芸「八戸凧」に触れる。	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
	・デザイン	デザインの役割を理解し、表現方法の工夫について学ぶ。	10/25	10/28	5	11/11
			11/8	11/11		
	・映像メディア表現 ・学びの振り返り	映像メディアを利用した作品について知る。 これまでの学びを振り返る。	11/22	11/25	6	12/6
			11/29	12/2		
冬期講習						

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。
○思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて見方や感じ方を深めたりしている。
○主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

・評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔芸術〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
書道Ⅰ	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

- ・「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」における書の表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	漢字仮名交じりの書（楷書）	・用具、用材と執筆法を確認する。 ・漢字（楷書）と仮名の調和を理解する。	5/10	5/13	1	5/27
			5/24	5/27		
	漢字の書（楷書）	・漢字の成立と変遷を理解する。 ・楷書の基本用筆法を理解する。	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
漢字の書（行書）	・古典の行書のさまざまな書風を通して用筆法・特徴を理解する。	6/28	7/1	3	7/12	
		7/5	7/8			
	夏期講習					
後期	漢字の書（隷書・草書）	・草書、隷書の成立と基本的な用筆法を理解する。	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
	仮名の書	・仮名の基本的な特徴を理解し、古典の表現を学ぶ。 ・平仮名の単体について学ぶ。	10/25	10/28	5	11/11
			11/8	11/11		
生活の中の書	・漢字仮名交じりの書の表現について学ぶ。 ・生活の中の書のいろいろな書式を理解する。 ・用途に応じた書き方ができるようにする。 （封筒・便せん・はがきなど）	11/22	11/25	6	12/6	
		11/29	12/2			
	冬期講習					

### 3 評価の観点

- ・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	書写能力を向上させ、基礎的な技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	書の表現を工夫し、書の美を捉えている。
○主体的に学習に取り組む態度	書の表現、鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

- ・評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

### ◇ 年間学習計画〔芸術〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
書道Ⅱ	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

#### 1 学習目標

・書道の創造的な諸活動を通して、書を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

#### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	漢字の書（篆書）（篆刻）	・篆書の基本的な用筆、運筆を理解し豊かな表現を学ぶ。 ・篆刻の歴史と役割、用筆を学ぶ。	5/10	5/13	1	5/27
			5/24	5/27		
	漢字の書（隸書）	・隸書の古典の特徴と表現を学ぶ。	6/7	6/10	2	6/17
			6/14	6/17		
漢字の書（草書）	・草書の古典の特徴と表現を学ぶ。	6/28	7/1	3	7/12	
		7/5	7/8			
	夏期講習					
後期	漢字の書（行書）（楷書）	・行書、楷書の古典の特徴と表現を学ぶ。	10/4	10/7	4	10/21
			10/18	10/21		
	仮名の書	・〈連綿〉や〈散らし書き〉をはじめ、仮名の技法を理解し表現の美も学ぶ。	10/25	10/28	5	11/11
			11/8	11/11		
漢字仮名交じりの書	・漢字と仮名の調和、形式に応じた全体の構成と表現について学ぶ。	11/22	11/25	6	12/6	
		11/29	12/2			
	冬期講習					

#### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	書写能力を向上させ、効果的に表現するための技能を身に付けている。
○思考・判断・表現	書の表現を工夫し、書の美を味わい、深く捉えている。
○主体的に学習に取り組む態度	書を通して心豊かな生活や社会を創造していこうとしている。

・評価は、各単元の評価結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔外国語〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
英語コミュニケーションⅠ	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(8)・後期(8)

### 1 学習目標

日常的・社会的な話題について、情報や意図などを把握したり伝え合ったりすることで、英語やその背景にある文化に対する理解を深めるとともに適切に活用できる技能を身に付け、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	Pre-Lesson1	My Name Is Ito Neko be動詞	5/10	5/13	1	5/27
	Pre-Lesson2	I Like Junk Food! 一般動詞	5/17	5/20	2	
	Lesson1	Breakfast around the World 過去形	5/24	5/27		3
	Lesson2	Australia's Cute Quokkas 進行形	6/7	6/10	4	
	Lesson3	Life with Spade 助動詞	6/14	6/17		5
	Lesson4	A Miracle Mirror to不定詞	6/28	7/1	6	
	夏期講習	前期試験対策	7/5	7/8		
後期	Lesson5	A Dream Engine 動名詞	7/12	7/15	7	10/21
	Lesson6	A Funny Picture from the Edo Period 受け身	7/19	7/22		
	Lesson7	A Diary of Hope 比較表現	10/4	10/7	9	11/11
	Lesson8	A Door to a New Life 現在完了形	10/11	10/14		
	Lesson9	Ghosts in the Oceans 名詞を後ろから説明する分詞	10/18	10/21	11	12/6
	Lesson10	Pigs from across the Sea 関係代名詞	11/1	11/4		
	冬期講習	後期試験対策	11/8	11/11		

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	基本的な語彙力や文法事項に関する知識を身に付けており、適切に運用することができる。
○思考・判断・表現	日常的・社会的な話題について情報を整理し、英語で表現することができる。
○主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔外国語〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
論理・表現Ⅰ	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

日常的・社会的な話題について、情報や意見などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことで、英語やその背景にある文化に対する理解を深めるとともに適切に活用できる技能を身に付け、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	Unit1 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4	褒める／勧める／断る 提案する／依頼する／説明する 紹介する／注意を引く 体調を伝える／体調を尋ねる／指示・アドバイスを する	5/10	5/13	1	5/27
			5/17	5/20		
	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8	描写する／相づちを打つ 希望を述べる／理由を述べる 誘う／誘いを受ける／誘いを断る 状況を説明する／申し出る／助言・提案する／感謝する	5/31	6/3	2	6/17
			6/7	6/10		
Lesson 9 Lesson10 Lesson11 Lesson12	要約し、紹介する／感想や批評を述べる 謝る／許す／励ます 共感を述べる／残念な気持ちを述べる／解決策を提案する 要望や主張を述べる／理由を述べる	6/28	7/1	3	7/12	
		7/12	7/15			
夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/		
後期	Unit2 Lesson1 Lesson2 Lesson3	理由を述べる／例を挙げる 反駁する／引用する 描写する／経験からアドバイスする	10/4	10/7	4	10/21
			10/11	10/14		
	Lesson4 Lesson5	順序立てて説明する／聞き手の知識に合わせて説明する 事実と意見を区別して述べる／文化や習慣を説明する	10/25	10/28	5	11/11
			11/1	11/4		
Lesson6 Lesson7 Lesson8	利点と欠点を述べる／話題を発展させる／話題を変える 主張を説明する／要約する 引用する／条件を出して意見を述べる／説得する	11/15	11/18	6	12/6	
		12/6	12/9			
冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/		

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	基本的な語彙力や文法事項に関する知識を身に付けており、適切に運用することができる。
○思考・判断・表現	日常的・社会的な話題について情報を整理し、英語で表現することができる。
○主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

### ◇ 年間学習計画〔外国語〕

科 目	単 位 数	レポート枚数	必要面接時数
論理・表現Ⅱ	前期(1)・後期(1)	前期(3)・後期(3)	前期(4)・後期(4)

#### 1 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

#### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前 期	Unit 1 Lesson1 友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4 ファンレター	Lesson1 友達に報告する時の伝え方を覚える Lesson2 日本での初登校 日本での学校行事の言い方を学ぶ Lesson3 経験についてのスピーチ スピーチの方法を練習する Lesson4 ファンレター 丁寧な依頼の仕方を考える	5/10	5/13	1	5/27
		5/24	5/27			
	Unit 1 Lesson5 イベントに誘う Lesson6 図書館で資料さがし Lesson7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼	Lesson5 Why don't we go~?などを覚える Lesson6 借りる 返す 予約等の言い方を学ぶ Lesson7 翻訳についてのスピーチ 俳句、短歌の翻訳法を考える Lesson8 返品の控えめな言い方を練習する	6/7	6/10	2	6/17
		6/14	6/17			
Unit 1 Lesson9 タクシーに乗る Lesson10 友達とディスカッション Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業	Lesson9 Where would you like to go?の会話の習得 Lesson10 If..., we wouldn't... の言い回しの復習 Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業 scientist architect などを使って表現する	6/21	6/24	3	7/12	
	7/12	7/15				
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後 期	Unit 2 Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③	Lesson1 クラスでディベート①Affirmative Negative 制服について やり方①, ② Lesson2 クラスでディベート②Sky Tower 建設について Lesson3 クラスでディベート③Negative Summary Speech	10/4	10/7	4	10/21
		10/18	10/21			
	Unit 2 Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Lesson5 社会問題についてのスピーチ	Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Japanese culture sushi J-pop anime manga Lesson5 社会問題についてのスピーチ 世界遺産についての説明	10/25	10/28	5	11/11
		11/8	11/11			
Unit 2 Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する	Lesson6 仮定して推論する 「もし、なら」 Lesson7 比較して説明する cheap-expensive strong-weak easy-difficult Lesson8 読み手を説得する 夏時間 昼寝休憩 学年(度)	11/22	11/25	6	12/6	
	12/6	12/9				
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

#### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	英語の特徴やきまりについて、目的や場面、状況などに応じた論理構成や展開を意識しながら、情報や考えなどを効果的に伝える表現力を身に付けている。
○思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報を活用するとともに、伝える内容を整理し英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に表現している。
○主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔家庭〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
家庭総合	前期(2)・後期(2)	前期(6)・後期(6)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	生涯を見通す	自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	5/17	5/20	1	5/27
	人生をつくる	家族・家庭の役割や家庭に関する法律を知る。性別役割分業から男女共同参画社会への移行を考える。	5/24	5/27	2	
	経済生活を営む	消費者の権利や責任を自覚し、信用経済の仕組みについて正しい認識を持つ。家計の収支について理解し、適切な家計管理ができる。経済的自立の準備をする態度を養う。	5/31	6/3	3	6/17
	子どもと共に育つ	子どもの心身の発達や、生活について知る。子どもの成長を支える、親、地域社会の役割を考える。	6/14	6/17	4	
	超高齢社会を共に生きる	高齢者の心身の変化と援助の方法について考える。高齢社会の現状と課題、介護保険制度を知る。	6/28	7/1	5	7/12
	共に生き、共に支える	社会保障・社会福祉のしくみを知る。共生社会を目指すために、バリアフリー・ユニバーサルデザイン・ノーマライゼーションについて理解する。	7/12	7/15	6	
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22		
後期	食生活をつくる	食生活の現状と問題点を考え、健康と食事の関係を知る。栄養素の機能とその給源となる食品の性質について知る。食品の表示から食品情報を読み取り、食の安全や選択について考える。	10/11	10/14	7	10/21
		献立の栄養診断を実施し、自分の食生活を見直す。調理の基本を理解する。	10/18	10/21	8	
	衣生活をつくる	衣服の機能や衣生活の問題点を考える。衣服の表示を読み取り、健康で快適な衣服の選択を考える。	11/8	11/11	9	11/11
	住生活をつくる	健康で安全な住居の条件を知る。住まいの文化と、その背景としての気候・風土との関連を考える。	11/15	11/18	10	
	持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指すために、現代の消費生活の特徴を知り、消費者の権利や責任を自覚する。SDGsを理解し、エシカル消費ができる消費者を目指す。	11/22	11/25	11	12/6
	食生活をつくる	希望者のみ調理実習を行う。希望しない者は調理実習についてのポイントや、食生活に関する理解を深める。	12/6	12/9	12	
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/19		

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。
○思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど課題解決能力を身に付けている。
○主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会を構築するための課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、地域社会に参画しようとしている。また、生活文化の継承や自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔家庭〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
保育基礎	前期(2)・後期(2)	前期(4)・後期(4)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付け、保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	保育の意義 保育の方法	人の発達において、乳幼児期が人格形成の最も大切な時期であることを理解する。	5/17	5/20	1	5/27
		保育者にはどのような資質が求められるか、それを身に付けるにはどうしたらよいかなど保護者観について理解する。	5/24	5/27		
	保育の環境	家庭保育、集団保育それぞれの役割と意義を知る。子ども取り巻く社会環境の変化と課題について考える。	5/31	6/3	2	6/17
	子どもの発達の特性 子どものからだの発達	運動・感覚・知能・情緒・社会性などの精神的な発達の規則性と一般的な発達過程を理解する。子どものからだの発達と生理的特徴を理解する。	6/14	6/17		
	子どもの心の発達	アタッチメントを形成することの大切さを認識する。発達に影響を及ぼす因子について理解する。問題行動と養育環境との関わりを理解する。	7/5	7/8	4	7/12
		妊娠から乳児期までのまとめ。	7/12	7/15		
夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22			
後期	子どもの生活と養護 生活習慣の形成	健康管理のための養護について知る。栄養と食事について理解する。子どもの衣生活と育児用品について考察する。	10/11	10/14	5	10/21
		発達段階に応じた生活習慣を修得させる上での留意点を考える。	10/18	10/21		
	健康管理と事故防止	いざという時、子どもの健康と安全を守れるように、病気のケアや事故への予防策を知る。	11/8	11/11	6	11/11
	子どもの文化の意義と支える場 子どもの遊びと表現活動	遊びの意義と、発達段階に応じた遊びの種類や形態の変化を理解する。	11/15	11/18	7	
	子ども観 子どもの福祉 子育て支援	子ども観の変遷と、子どもの権利の実現について理解する。	11/22	11/25	8	12/6
		児童福祉に関する法律や制度の変遷から児童館の変化を知る。子育て支援の政策を知る。	12/6	12/9		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/19		

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	保育に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。
○思考・判断・表現	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し想像する力を身に付けている。
○主体的に学習に取り組む態度	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔家庭〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
生活と福祉	前期(2)・後期(2)	前期(4)・後期(4)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

- ・人間の健康・病気の概念の学習を基礎とし、応急手当の方法や高齢者介護の知識を習得する。
- ・ライフステージごとの特徴と健康管理を知り、日常の健康管理に生かせるようにする。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	1章 人の一生と生活・健康	1節 健康の概念 2節 ライフステージと健康管理	5/10	5/13	1	5/27
	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴	1節 高齢者の現状 2節 高齢者の心身の特徴と病気 3節 高齢者の生活課題と施策	5/17	5/20	2	
	3章 高齢者の自立生活支援	1節 自立生活支援の基本となる考え方	6/7	6/10		3
		2節 高齢者介護	6/28	7/1	4	
			7/5	7/8		
夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/		
後期	4章 高齢者支援の法律と制度	1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ	10/4	10/7	5	10/21
		2節 介護保険制度 3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム	10/11	10/14	6	
		5章 介護・看護の実習と生活支援	1節 介護の実習	10/25	10/28	7
	11/15			11/18		
	2節 看護の実習 3節 生活支援		11/22	11/25	8	
			11/29	12/2		
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

### 3 評価の観点

- ・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	ライフステージごとの心身の特徴や健康管理について理解している。また、高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて、背景や概要を理解しており、介護予防の考え方に基づき、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識を習得している。
○思考・判断・表現	高齢期にいたるまでの健康づくりについて、さまざまな健康観から考え、課題解決しようとしている。
○主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域の高齢者の生活に関心をもって積極的に関わろうとしている。

- ・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔家庭〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
フードデザイン	前期(2)・後期(2)	前期(4)・後期(4)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

食事の意義・役割の理解、栄養素のはたらきや食事計画・献立作成、調理やマナー等の「食」に関する知識・技術を習得し、日常的に活用できるようになる。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	[第1章] 食生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の意義と役割</li> <li>・食をとりまく現状</li> </ul>	5/10	5/13	1	5/27
	[第4章] 調理の基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理とおいしさ</li> <li>・調理操作</li> <li>・調味操作</li> </ul>	5/17	5/20	2	
	[第2章] 栄養素のはたらきと食事計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・からだのしくみと食べ物</li> <li>・消化と吸収</li> <li>・食事摂取基準と食事計画</li> <li>・ライフステージと栄養計画</li> </ul>	6/7	6/10		3
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・炭水化物</li> <li>・脂質</li> <li>・タンパク質</li> <li>・ビタミン</li> </ul>	6/28	7/1	4	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミネラル</li> <li>・水、その他物質</li> </ul>	7/5	7/8		
夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/		
後期	[第3章] 食品の特徴・表示・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の特徴と性質</li> <li>・食品の生産と流通</li> </ul>	10/4	10/7	5	10/21
	[第5章] 料理様式とテーブルコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の選択と表示</li> <li>・食品の衛生と安全</li> </ul>	10/11	10/14	6	
	[第6章] フードデザイン実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理様式と献立</li> </ul>	10/25	10/28	7	11/11
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルコーディネート</li> <li>・献立作成</li> </ul>	11/15	11/18		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルコーディネート</li> <li>・献立作成</li> </ul>	11/22	11/25	8	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・献立作成</li> </ul>	11/29	12/2				
冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/		

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得している。
○思考・判断・表現	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見するとともに、家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決できる。
○主体的に学習に取り組む態度	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて、主体的に計画・実践することができる。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔情報〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
情報Ⅰ	前期(1)・後期(1)	前期(2)・後期(2)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

情報を広い視野から捉え、情報および情報社会について理解するとともに、情報活用能力を身に付ける。また、コンピュータの特性を理解し、基礎的な操作、技能を身に付ける。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート		
			日曜	水曜	No.	合格期限	
前期	第1章 情報で問題を解決する	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報メディアの特性</li> <li>発想法</li> <li>個人情報の流出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の流れ</li> <li>情報モラル</li> </ul>	5/17	5/20	1	5/27
		<ul style="list-style-type: none"> <li>傷つかない傷つけないために</li> <li>情報技術の発展</li> <li>よりよい情報社会へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>著作権について</li> <li>情報化による変化</li> </ul>	5/24	5/27		
	第2章 情報を伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットコミュニケーションの特徴</li> <li>数値と文字のデジタル表現</li> <li>音と画像のデジタル表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルとは</li> </ul>	5/31	6/3	2	6/17
		<ul style="list-style-type: none"> <li>色と動画のデジタル表現</li> <li>ユニバーサルデザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報デザイン</li> <li>情報デザインの流れ</li> </ul>	6/14	6/17		
	実技 情報デザインの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技 文書作成ソフトを使用して、情報デザインの作成を行う。</li> </ul>		6/28	7/1	2	6/17
		<ul style="list-style-type: none"> <li>実技 文書作成ソフトを使用して、情報デザインの作成を行う。</li> </ul>		7/12	7/15		
夏期講習							
後期	第3章 コンピュータを活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータとは何か</li> <li>アルゴリズムとは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフト、ハードウェア</li> <li>プログラムの基本構造1</li> </ul>	10/11	10/14	3	10/21
		<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの基本構造2</li> <li>発展的なプログラム2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展的なプログラム1</li> <li>シミュレーション</li> </ul>	10/18	10/21		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>実技 パイソン、スクラッチを使用してプログラミングの基礎を学習する。</li> </ul>		11/8	11/11		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>実技 上記で学習したことを応用し、プログラミングデザインについて学習する。</li> </ul>		11/15	11/18		
	第4章 データを活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークについて</li> <li>情報セキュリティ</li> <li>データの利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>WWWとURL</li> <li>データベースの活用</li> </ul>	11/22	11/25	4	11/11
		<ul style="list-style-type: none"> <li>実技 データベースソフトを利用して、実技を行う。</li> </ul>		12/6	12/9		
冬期講習							

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	情報社会と人との関わりについて理解し、情報モラルを身に付けている。また、コンピュータを利活用し、基礎的な特性と操作の仕方を身に付けている。
○思考・判断・表現	問題の発見・解決に向けて自ら考え、情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
○主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を活用し、問題の発見、解決に向けて主体的に取り組み、自ら評価し改善している。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

## ◇ 年間学習計画〔商業〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
ビジネス基礎	前期(2)・後期(2)	前期(4)・後期(4)	前期(4)・後期(4)

### 1 学習目標

経済を理解するとともにビジネスを様々な視点から学習し、ビジネスに対する主体性や望ましい心構えを身に付け、より専門的な学習への関心や卒業後の進学先・就職先について意識を高める。

### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	1章 商業の学習とビジネス	なぜ商業科目を学ぶのか理解し、また、どのように学ぶのか自ら考え自ら学ぶ姿勢を身に付ける。私たちの生活とビジネスの関わり、ビジネスが目指すもの、社会の課題にビジネスがどのように対応しているのか学習する。	5/10 5/17	5/13 5/20	1	5/27
	2章 ビジネスとコミュニケーション	ビジネスマナーの重要性、様々なケースにおける基礎的なマナーについて学び、身に付ける。	5/24 6/7	5/27 6/10	2	6/17
	3章 経済と流通の基礎	経済を理解し、企業が行うビジネス活動と経済の仕組みを学習する。 ものの生産者の役割・種類・動向などを学ぶ。また、小売業や卸売業について詳しく学習する。	6/14	6/17	3	
	4章 さまざまなビジネス	物流業者・金融業者・情報通信業者の役割、種類、今後の動向などを学習する。	6/28 7/12	7/1 7/15	4	7/12
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	5章 企業活動の基礎	企業の経営組織、ビジネスに必要な資金調達方法を学び、企業が納める税や企業における倫理観を学習する。	10/4 10/18	10/7 10/21	5	10/21
	6章 ビジネスと売買取引	商取引における売買契約の重要性を用いる文書、代金決済に使用される通貨・小切手・手形について学習する。	10/25 11/1	10/28 11/4	6	11/11
	7章 ビジネス計算	割合を理解し、割合を使用した計算を解く力を身に付ける。また、仕入原価・売価・損益額の関係を理解し、それぞれの数値を求め方を学習する。	11/8	11/11	7	
	8章 身近な地域のビジネス	地域の魅力や課題について学習し、地域とビジネスとの関わりについて学習する。	11/22 12/6	11/25 12/9	8	12/6
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/19	/	

### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的に・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
○思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を身に付けようとしている。
○主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

◇ 年間学習計画〔商業〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
簿記	前期(2)・後期(2)	前期(4)・後期(4)	前期(4)・後期(4)

1 学習目標

企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的な仕組みを理解する。

2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記の基礎</li> <li>貸借対照表</li> <li>損益計算書</li> </ul>	貸借対照表と損益計算書を作成する。 勘定科目の種類と分類や取引・勘定の意味を理解する。	5/17 5/24	5/20 5/27	1	5/27
	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕訳と転記</li> <li>仕訳帳と総勘定元帳</li> <li>試算表</li> </ul>	仕訳と転記の記帳を理解し、仕訳帳、総勘定元帳へ記入する。 試算表を作成する。	5/31 6/14	6/3 6/17	2	6/17
	<ul style="list-style-type: none"> <li>精算表</li> <li>決算仕訳</li> </ul>	精算表の作成し、そのしくみを理解する。 決算の意味と手続きを理解する。	6/21 7/5	6/24 7/8	3	7/12
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現金、預金などの取引</li> </ul>	現金、預金の処理を理解し、出納帳を作成する。	7/12	7/15	4	
	夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22	/	
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>3分法</li> <li>仕入帳と売上帳</li> <li>商品有高帳と商品売買損益計算</li> </ul>	3分法による仕訳から、仕入帳と売上帳を作成する。 商品有高帳を作成し、商品売買損益の計算を理解する。	10/11 10/18	10/14 10/21	5	10/21
	<ul style="list-style-type: none"> <li>手形、有価証券、債券・債務に関する記帳</li> </ul>	手形の記帳と有価証券取得時と売却時の処理の仕方を理解する。 各種の債権・債務の取引について理解する。	10/25 11/8	10/28 11/11	6	11/11
	<ul style="list-style-type: none"> <li>債権・債務と固定資産の取引</li> <li>個人企業の資本と税金</li> </ul>	固定資産取得時と売却時の処理と個人企業の資本取引について理解する。 所得税と住民税の記帳処理について理解する。	11/15	11/18	7	12/6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算取引</li> <li>伝票</li> </ul>	商品売買に関する勘定の整理や貸倒れの見積もり・固定資産の減価償却の方法について理解する。 伝票の種類と起票について理解する。	11/22 12/6	11/25 12/9	8	
	冬期講習	後期試験対策	12/13	12/16	/	

3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	簿記の実務について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。
○思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成方法の妥当性と課題を見出し、科学的な根拠に基づいて課題に対応しようとしている。
○主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力を身に付け、適切な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。

### ◇ 年間学習計画〔商業〕

科目	単位数	レポート枚数	必要面接時数
情報処理	前期(2)・後期(2)	前期(4)・後期(4)	前期(4)・後期(4)

#### 1 学習目標

情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得し、ビジネスの諸活動のなかでの『情報』の意義や役割について理解する。

#### 2 学習計画

学期	学習項目	学習内容	スクーリング		レポート	
			日曜	水曜	No.	合格期限
前期	情報処理の重要性 情報モラルと法規 コミュニケーションと情報デザイン コンピュータシステムの概要 情報通信ネットワークの仕組みと構成	ビジネスの諸活動において、情報を主体的に活用する能力と態度を身に付け、現在の社会と情報の関係を理解し、適切に行動するためのモラルやマナーを学習する。	5/10	5/13	1	5/27
			5/31	6/3		
		コンピュータの五大機能と五大装置を学び、ハードウェア・ソフトウェアの内容、システムの起動と終了、マウスの操作を習得する。	6/7	6/10	2	6/17
			6/21	6/24		
	インターネットの活用 情報セキュリティの確保	インターネットにはさまざまな危険性があるため、安心して使うためのセキュリティ管理について学習し、また、電子メールによるビジネスに関する事項を学習する。	6/28	7/1	3	7/12
	ビジネスと統計 関数を利用した表の作成	表計算ソフトウェアの基本操作を習得する。また、合計・平均・最大・最小・条件の判定などの関数について学習する。	7/12	7/15	4	
夏期講習	前期試験対策	7/19	7/22			
後期	グラフの作成 情報の整列・検索・抽出 問題の発見と解決の方法	関数などを利用してデータを加工した表をグラフを用いて作成するとともに、いろいろなグラフ作成機能を利用して作成する方法も習得する。	10/4	10/7	5	10/21
	ビジネス文書と表現 基本文書の作成	ビジネス文書の役割や分類、基本的な構成要素、正確で分かりやすい文章表現について学習する。	10/11	10/14	6	11/11
			11/1	11/4		
	応用文書の作成	ビジネス文書の用途に応じた文章表現や文書中へのグラフの挿入、文書デザインについて学習する。	11/15	11/18	7	12/6
	プレゼンテーションの技法 ビジネスにおけるプレゼンテーション	プレゼンテーションを行う際の話し方や進め方を理解し、ソフトウェアを活用して目的に応じた効果的なプレゼンテーションを行うための技法を身に付ける。	11/22	11/25	8	
			12/6	12/9		
冬期講習	後期試験対策	12/13	12/19			

#### 3 評価の観点

・レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。

○知識・技能	企業の実務において情報を扱うことについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。
○思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて解決しようとしている。
○主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指し、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組んでいる。

・評価は、各単元の評価結果と試験結果を観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5段階で算出します。